



金田町長が、3月議会定例会で令和5年度施政方針を説明しました。抜粋・要約して記載します。町ホームページ「町長室」に全文を掲載しています。

この好機を最大限に生かして
昨年は、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、ロシアのウクライナ侵攻などを背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響などで、エネルギーや食料品などの物価上昇が日々の生活や事業活動に大きな影響を与える厳しい年となりました。

この好機を最大限に生かして

しかし、一方で、本町においては、TSMCの進出に伴い半導体関連の企業立地が増加し、それに伴う宅地などの開発が増加するなど、町が活性化していることを実感できる年でもあります。

さらには、空港アクセス鉄道の分岐駅が肥後大津駅に決定したことも、本町の活性化の追い風となります。3月に阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビルが開業し、7月には南阿蘇鉄道が全線開通となり、肥後大津駅までの直通運転が始まります。今後は、熊本市や阿蘇方面への玄関口としての本町の役割がますます大きくなることも、県全体の活性化にも関わ

重要な役割を担うことになるものと認識しています。

町としては、これらの好機を最大限に生かし、10年後、20年後、その先も成長に向かい、住み暮らしの皆様が幸せでいられる町であり続けるよう、急激な変化に伴うさまざまな課題解決を図るとともに、短期目標と中長期目標を設定した上で、それぞれの目標達成に向けて着実に実績を積み重ねていきます。

施政方針はこちら



令和5年度の具体的な施策

1 子育て支援・教育環境 日本一のまちづくり

保育サービスの充実に向けた町立園の再編
町立大津幼稚園を認定こども園に移行することを条件に民営化の手続きを進め、移譲先事業者を決定しました。令和6年度からスムーズに開園できるよう、保護者に丁寧に説明を行いながら、在園児にも不安を感じさせないよう、しっかりと取り組んでいきます。

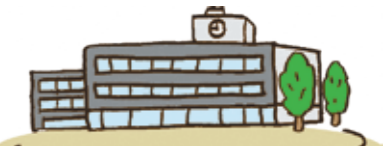


児童虐待への対応
「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子育て世代包括支援センターと一体となって支援を行うとともに、児童相談所との円滑な連携を図れるよう体制を整えます。

新しい学びの環境
AIを活用した学習ソフトを導入し、一人一人の個性や習熟度にも一層配慮した学びを支援します。また、新型コロナウイルスの流行により休止していた台湾高雄市の姉妹校との交流再開を進めます。



学校施設の老朽化対策
大津中学校校舎の大規模改修工事に着手します。工事中も、生徒の皆様が、仮設校舎で安全に安心して勉強できるよう配慮します。



3 命を守る徹底した防災・防犯対策

太陽光発電設備への対応
「大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例」を制定し、7月1日から施行します。災害防止の観点から、事業者・地域住民・町の3者で組織する協議会を設立し、設備や河川の維持管理状況の確認と相互の協力体制の構築を行います。

日々の暮らしを守る「福祉」
「ふくしの相談窓口」が、複雑化した相談課題についてコーディネートを行い、部局を越えて横断的な相談支援にあたっています。今後も重層的支援体制の構築に取り組みます。

ふくしの相談窓口の利用方法はこちら▶



肥後大津駅周辺のにぎわいづくり
「肥後大津駅周辺まちづくり基本構想」を策定し、将来ビジョンを町民の皆様とも共有しながら新たなにぎわい創出を図ります。また、旧地域包括支援センター（役場北側県道沿い）を大津町商工会に貸し出し、まちなかエリアをはじめとした町内の活性化を推進します。

町の文化財の魅力発信
昨年度から強化しているデジタルに加え、江藤家住宅や町内の文化財を書籍やリーフレットなどにまとめ、広く活用します。

工業団地の整備
適地調査の結果を受け、整備に着手します。分譲開始は令和9年を予定しており、それまでは「大津町企業誘致パートナーシップ制度」を活用し、不動産事業者や金融機関と協力して民有地のスムーズなマッチングにつなげます。



健全な財政運営
令和4年度は約10億円にのぼる寄附をいただいているふるさと納税のさらなる磨き上げとともに、業務の効率化や補助財源の確保により、健全な財政運営に努めます。

2 新型コロナ対策

5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられます。今後の施策は、本誌の25頁をご確認ください。国の動向を注視しながら、町民の皆様にとって最適な施策を見極めながら対応していきます。

4 人生100年時代を見据えた福祉

全世代向けの健康づくり
中央公園に距離表示や歩幅表示を設置するとともに、町内企業向けの運動教室などを実施するなど、全世代向けの健康づくり事業をさらに推進します。

指定管理者制度のスタート
大津町運動公園と町内各種スポーツ施設の指定管理者制度が始まります。民間のノウハウや柔軟な運営体制を活用することで、新しいスポーツ体験の提供や、大会誘致を推進し、住民サービスの向上を図るとともに町のさらなる活性化につなげます。

5 活気とにぎわいを生む仕組みづくり

公共交通と渋滞対策
新たな移動手段の導入に向け実証実験に取り組みます。北部南部から乗り合いタクシーで中心部にお越しいただき、中心部では回遊型の移動を行っていただくことで、利便性を感じられる仕組みとする予定です。



6 町内産業支援と活性化

農業の振興
鳥獣対策や農道舗装工事などによる環境整備を着実に進めるとともに、経済情勢を注視しながら必要な支援を行っています。

商工業の振興
起業・新分野進出への支援を継続して実施し、アフターコロナにおける商工業の振興を推進します。また、地域おこし協力隊としてデザイナーを任用し、パンフレットなど観光に関わる制作物の磨き上げに取り組めます。

7 町民に、より信頼され、愛される役場の実現

人材確保と行政改革
即戦力となり、組織の多様性を推進する20代後半から30代を中心としたキャリア採用を実施します。また、業務内容やプロセスの見直し、デジタル推進や民間委託などの行政改革を進めます。

ブランド力の強化
広報紙、ホームページ、LINE等を通じて情報をわかりやすくお伝えします。また、本町が、町外の人からも「選ばれる町」となるように、大津町としてのブランド力と発信力を各施策において強化していきます。